

基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画
見直しに係る意見交換会

次 第

日時 平成29年7月17日（月・祝）
13時30分～15時30分
場所 朝霞市役所別館 大会議室

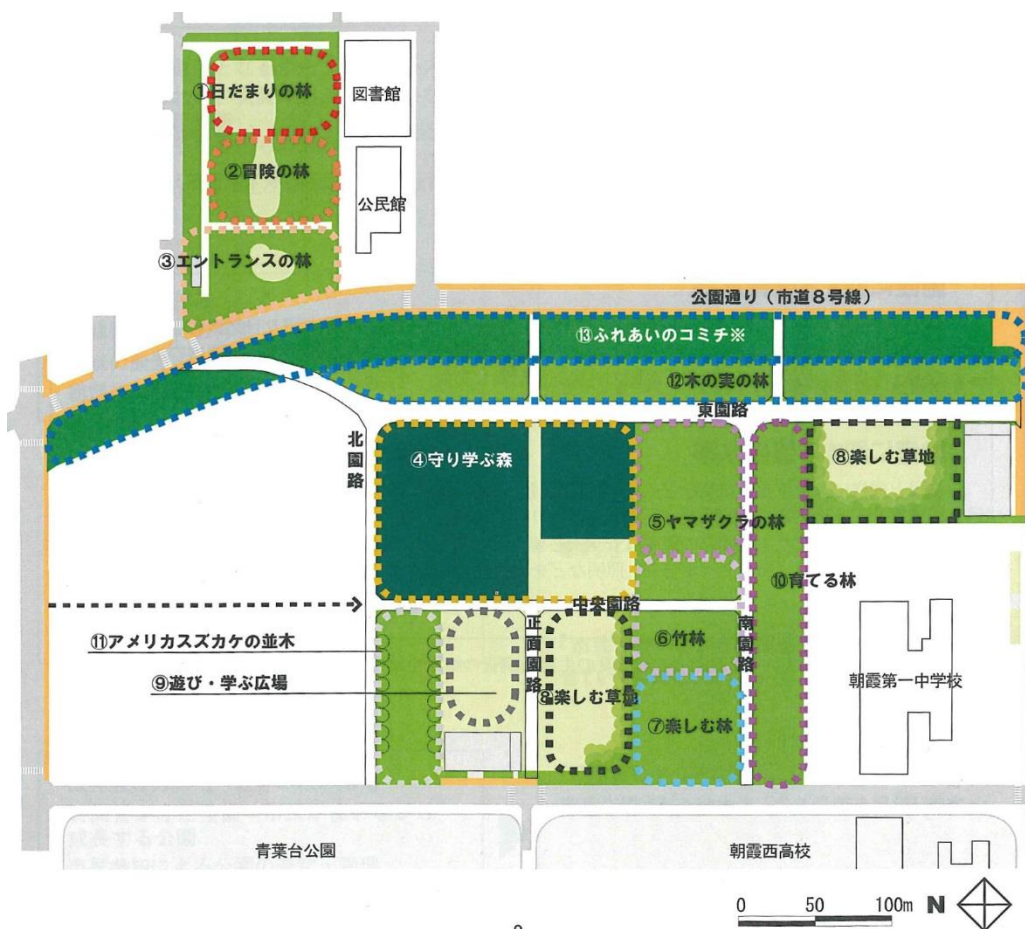
- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 講演「基地跡地公園のこれまでとこれからの計画づくり」
講師：朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画見直し
検討委員会副委員長
東京農業大学客員教授 戸田 芳樹氏
- 4 ワークショップ「基地跡地公園の使い方を考えよう」
進行役：朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画見直し
検討委員会委員
神奈川大学講師 奥村 玄氏
- 5 閉会

あさかの森

遊び・学び・癒される
憩いの森

人と自然が共存する森

市民が守り育てる森



2017年7月17日
(株) 戸田芳樹風景計画
戸田 芳樹

※極相林とは

野原で草が伸び、小さな木が生え、やがて森林になるという植物の移り変わりの最終段階に達した森林のことをいいます。他の段階と比べて、極相林の段階では、その内部にある木々の種類の移り変わりがあまり生じないという特徴があります。明治神宮の境内では、100年後には広葉樹を中心とした極相林に到達させるというビジョン（明治神宮御境内林苑計画）を掲げ、人工林が整備されています。

凡例

モリゾーン

多様な動植物を育む鬱蒼とした樹林とします。現在の樹林を保全するため必要最小限の樹木管理を行います。■将来的には極相林※を目指します。

クサゾーン

多様な動植物を育む縁部(樹林と草地の境)や草地とします。多様な昆虫が生息しモリの動物の餌場となります。■将来的には自然草地を目指します。

サトゾーン

人と動物が共存する武蔵野の原風景樹林とします。現在の樹林を尊重しつつ衰退樹木の植替え管理を定期的に行います。■将来的には雑木林を目指します。

コミチゾーン

公園通りの喧騒に対する緩衝帯として機能します。現在の樹林を尊重しつつ衰退樹木の植替え管理を定期的に行います。■将来的には快適に歩けるコミチを目指します。

【駐車台数】 約120台

※詳細はP16、資料編P23参照

【駐輪台数】 約350台

⊗ 放送施設（防災行政無線受信所）

道路の歩道

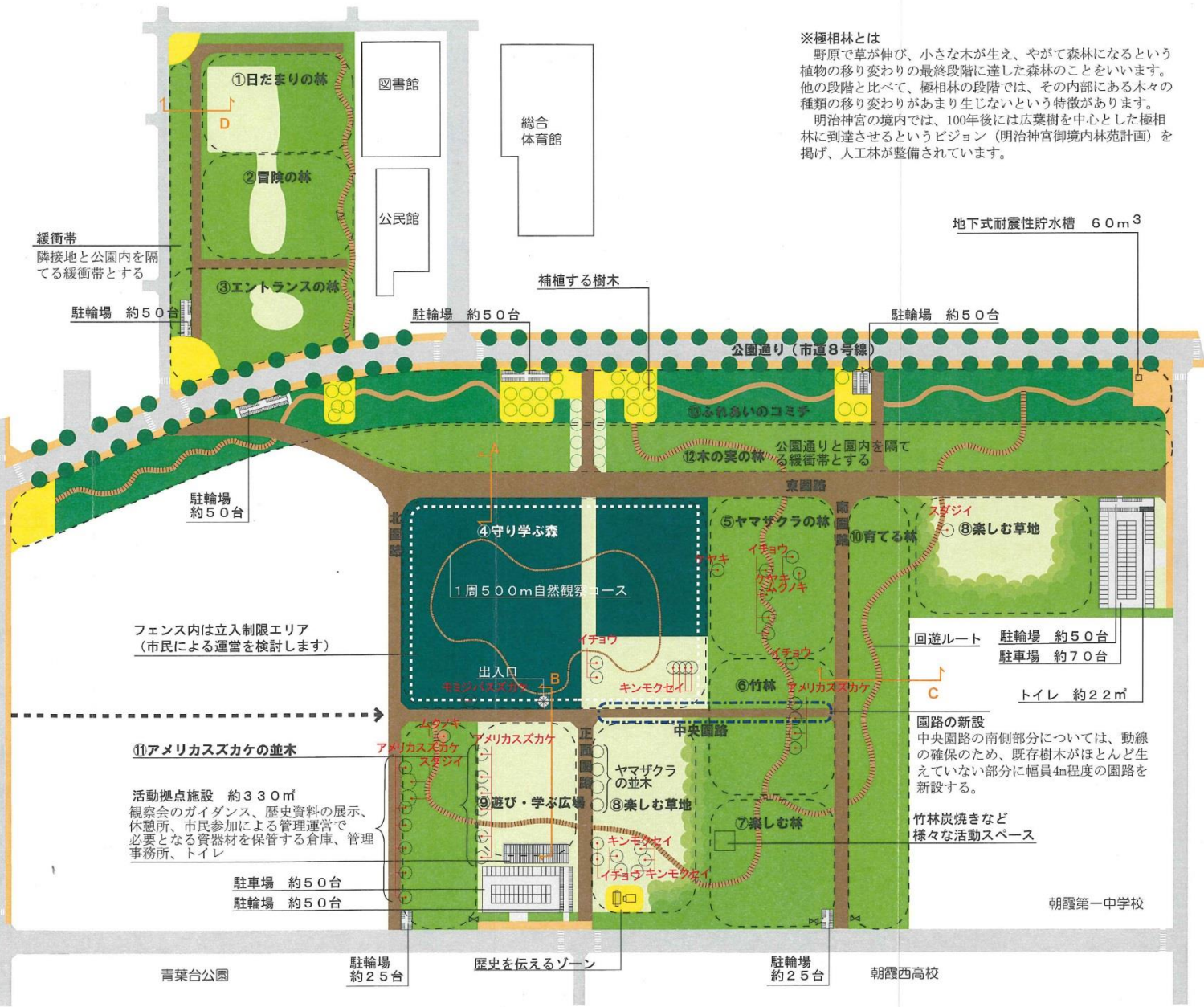
園路（管理用車両対応）

園路

広場

園内施設（活動拠点施設）

0 50 100m



フェンス内は立入制限エリア
(市民による運営を検討します)

⑪アメリカスズカケの並木

活動拠点施設 約330㎡
観察会のガイダンス、歴史資料の展示、休憩所、市民参加による管理運営で必要となる資器材を保管する倉庫、管理事務所、トイレ

駐輪場 約50台
駐輪場 約50台

青葉台公園

駐輪場 約25台

歴史を伝えるゾーン

駐輪場 約25台

朝霞西高校

緩衝帯
隣接地と公園内を隔てる緩衝帯とする

駐輪場 約50台

駐輪場 約50台

駐輪場 約50台

補植する樹木

地下式耐震性貯水槽 60m³

駐輪場 約50台

公園通り (市道8号線)

公園通りと園内を隔てる緩衝帯とする

駐輪場 約50台

駐輪場 約70台

トイレ 約22㎡

園路の新設
中央園路の南側部分については、動線の確保のため、既存樹木がほとんど生えていない部分に幅員4m程度の園路を新設する。

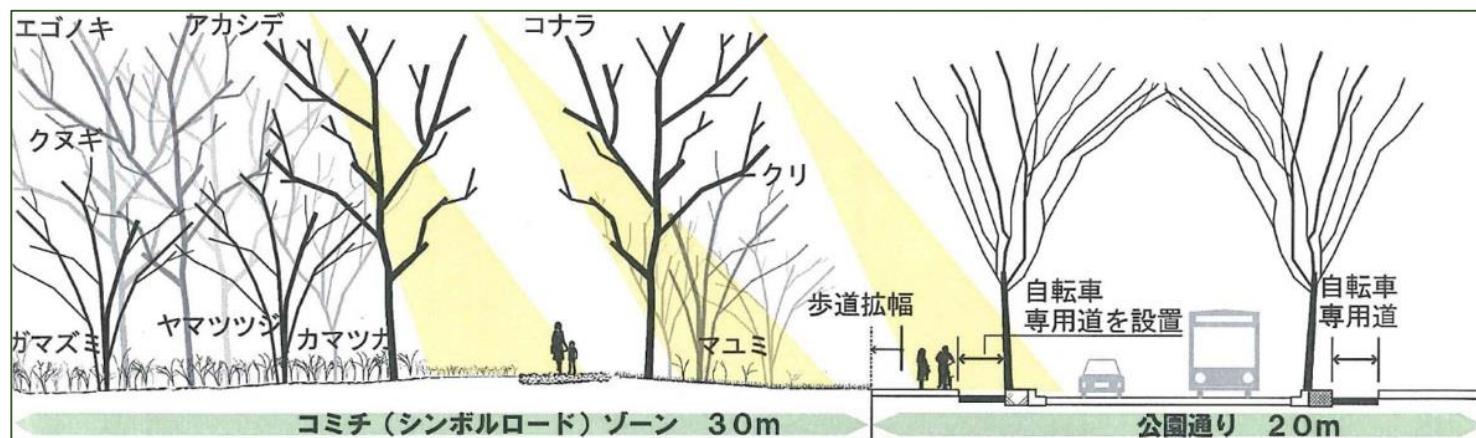
竹林炭焼きなど
様々な活動スペース

朝霞第一中学校

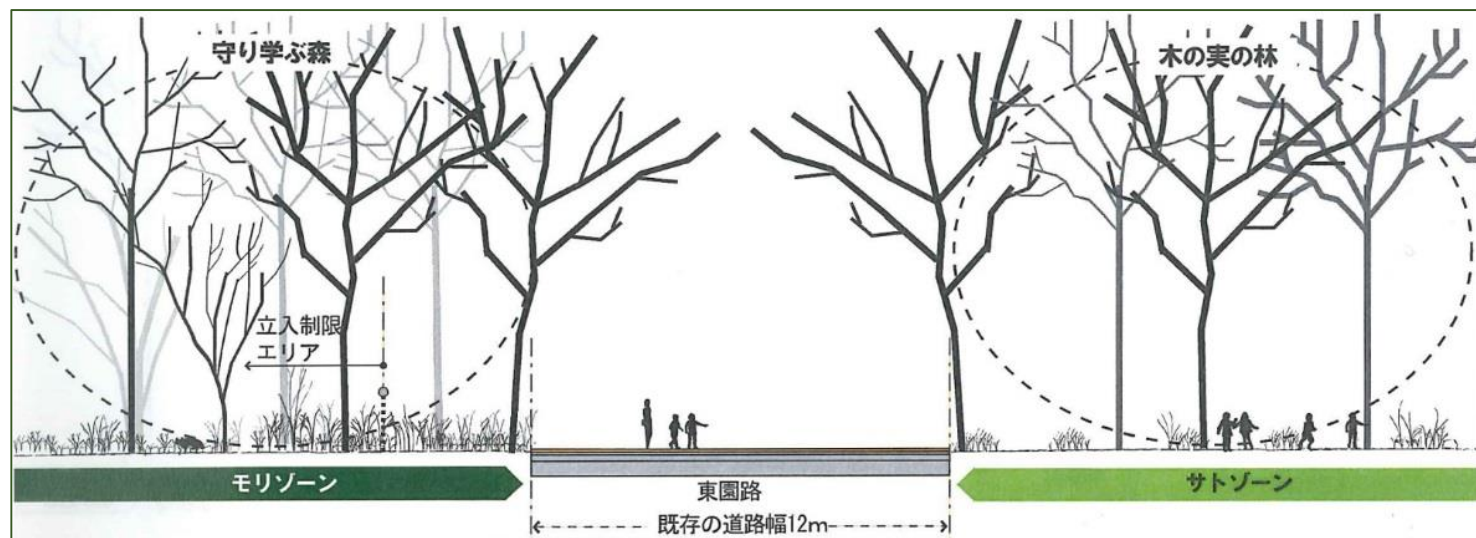
コミチゾーン

公園通りの喧噪に対する緩衝帯として機能します。現在の樹林を尊重しつつ衰退樹木の植え替え管理を定期的に行います。

将来的には快適に歩けるコミチを目指します。



断面図



特にシンボルロード（東園路までの範囲を含む）で実現を目指す提案

①シンボルロードの空間特性（延長約 650m の連続性のある空間）、先行整備の趣旨（オリンピック会場へのアクセスルートの一つとしての整備）に合うもの

■ 移動、散策

- ◇自転車通行帯
- ◇歩道
- ◇レンタサイクル
- サイクリング

■ 東京オリンピック・パラリンピック関連

- イベント
- （パブリックビューイング等を念頭に）

②近隣の公共施設（市役所、中央公民館、図書館、総合体育館、朝霞中央公園）と連携することで、より効果的な実施が見込まれるもの

■ 図書館との連携

- 緑陰で読書
- 青空図書館、移動図書館

■ 彩夏祭時の活用

- ◇よさこい出場団体の受付・待機所・給水所
- ◇よさこい観覧スペース
- ◇踊りの空間
- （ステージが設置可能な広場）
- ◇出展ブース用スペース
- （商工まつり、青年部出展の一体化等）
- ◇飲食・休憩スペース
- ◇仮設トイレ・喫煙所・リサイクルステーション
- ◇地方車の迂回路の確保
- ◇花火の際に立入禁止区域を管理しやすい構造の確保

■ 各施設で行われている既存イベントや日常利用との連携

- ◇農業祭
- サークル活動で利用できるスペース
- 鳴子・ダンス・音楽の練習やコンサートのできる空間

③朝霞駅側の市街地に近く、人が集まりやすい立地特性を活かすことができるもの

■ にぎわい創出

- 広場の活用例
- ◇音楽、アート関連のイベント
- ◇キッチンカー、移動販売車
- オープンカフェ
- ◇ミニコンサート、路上ライブ
- ◇おしゃれな軽トラ市
- ◇土日限定のチャレンジショップ
- ◇商店街から募ったイベント
- ◇特徴のあるイベント
- グルメ、フリマ、大道芸
- ミニSL、イルミネーション等

■ 市民の交流の場の創出

- ◇ベンチに座ってコミュニケーションが生まれる場所
- 子どもからお年寄りまで集まるたまり場
- 市民が自由に使える小さいイベント広場
- 100 人くらい集まれる広場
- 小さいステージ

提案の実現に向けシンボルロードに求められる空間

ゆったりと歩ける歩行空間

- ・基地跡地の緑の豊かさを感じながら、ゆったりと歩ける、ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間を設ける。

自転車道

- ・朝霞中央公園側の歩道と同様に、歩行空間と並行する自転車道を設ける。

大小様々なイベントを開催できる広場

- ・人々が集まる結節点となる場所に、イベント等を通じてにぎわいを創出する拠点となる広場を設ける。

くつろげる緑陰

- ・夏の強い日差しを避けたり、ゆったりと読書やおしゃべりを楽しめる緑陰を確保する。

○：あさかの公園で楽しみ隊活動報告書（平成 23 年 3 月）、市民企画講座「みんなで考えよう！楽しいシンボルロードづくり」（平成 28 年 10 月）、市民意見交換会（平成 28 年 10 月）、朝霞の森秋まつりで実施したアンケート（平成 28 年 11 月）でいただいた意見
◇：関係機関等ヒアリングでいただいた意見

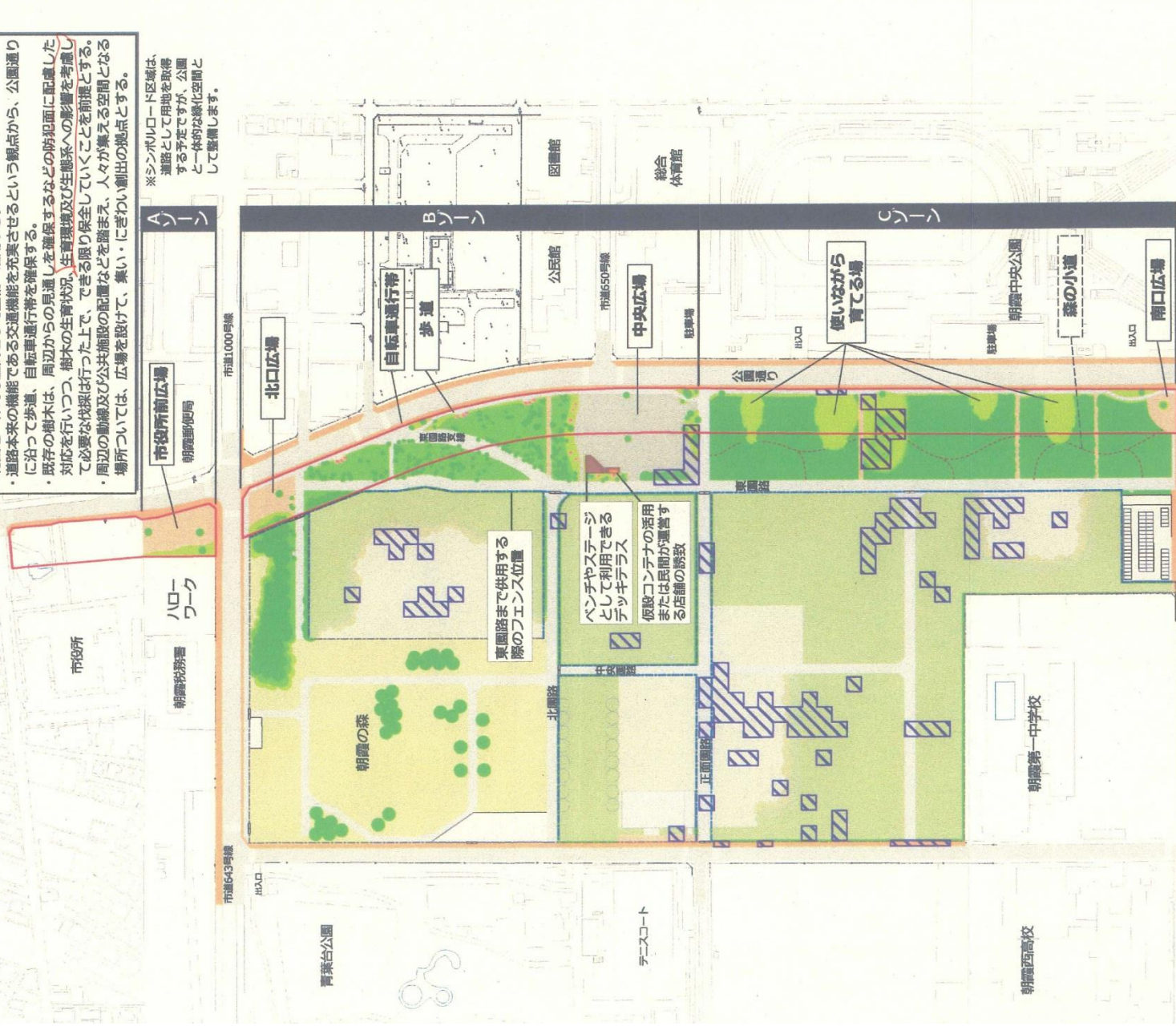
2. シンボルロード整備基本計画

2.1 当面の目標とするプラン

(1) 全体の整備方針

- ・公園通りから西側 30m のシンボルロード区域（道路法に基づく道路の区域*）と、そこから公園区域内の東園路までを合わせた、幅約 60m の範囲を一体的な空間として整備・活用する。
- ・道路本来の機能である交通機能を充実させるという観点から、公園通り既存の植木は、周辺からの見通しを確保するなどの防犯面に配慮した対応をいつつ、樹木の生育状況、生育環境及び生態系への影響を考慮して必要な伐採を行った上で、できる限り保全していくことを前提とする。
- ・周辺の動線及び公共施設の配置などを踏まえ、人々が集える空間となる場所については、広場を設けて、集い・にぎわい創出の拠点とする。

*シンボルロード区域は、道路として用地を取得する予定ですが、公園と一体的な緑化空間として整備します。



公園部分は、現行の整備基本計画のゾーニングと、朝霞の森の現況を表示しています。

あさか向陽園

朝霞保健所

道路法に基づく道路として用地を確保する範囲

土壌汚染区域（基地跡地公園・シンボルロード計画地内）

--- 新設するフェンス --- 既存のフェンス

ことばによる植栽イメージ

空間言語

現象言語

つなぐ

かさねる

そよぐ

おおう

したがえる

ふるまい

うつろう

ませる

ととのえる

かこむ

はかなさ

しぼる

むすぶ

しみる

つらなる

たばねる

へだてる

おとずれ

あわせる

たいする

おもかげ

くずす

しめる

くぎる

やわらげる

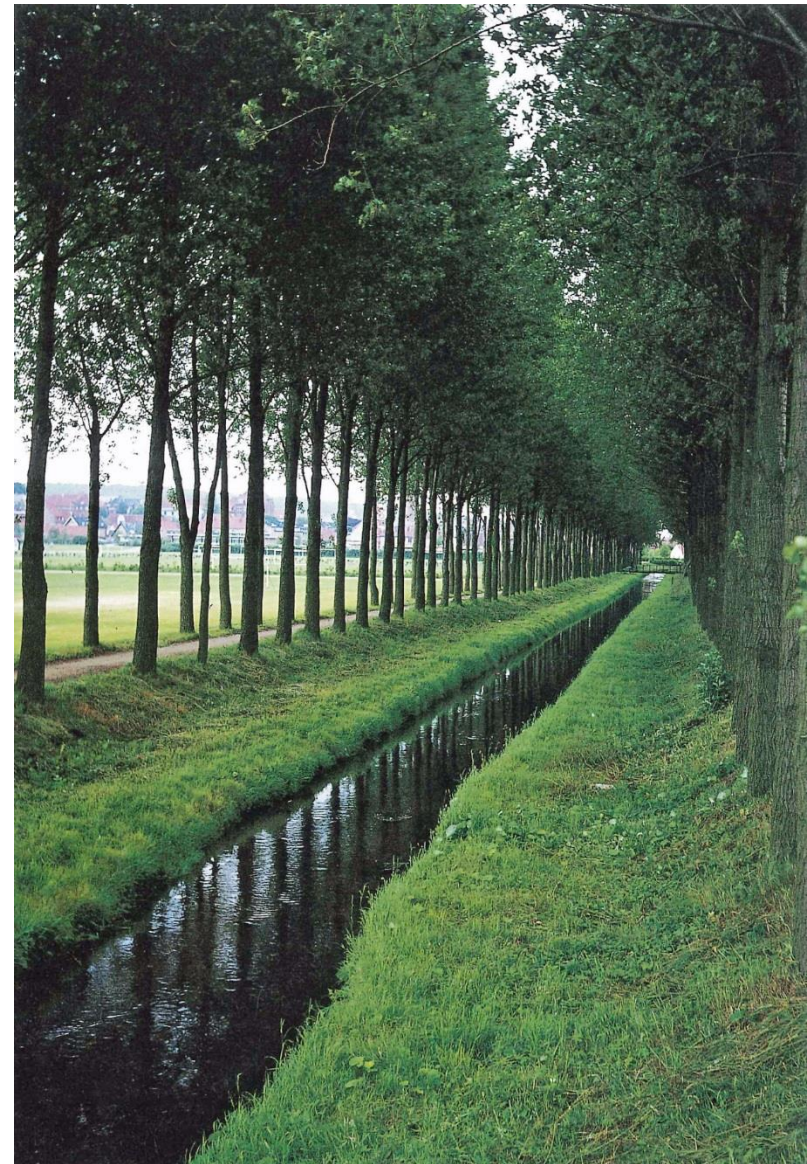
おおう

空間言語



つなぐ

空間言語



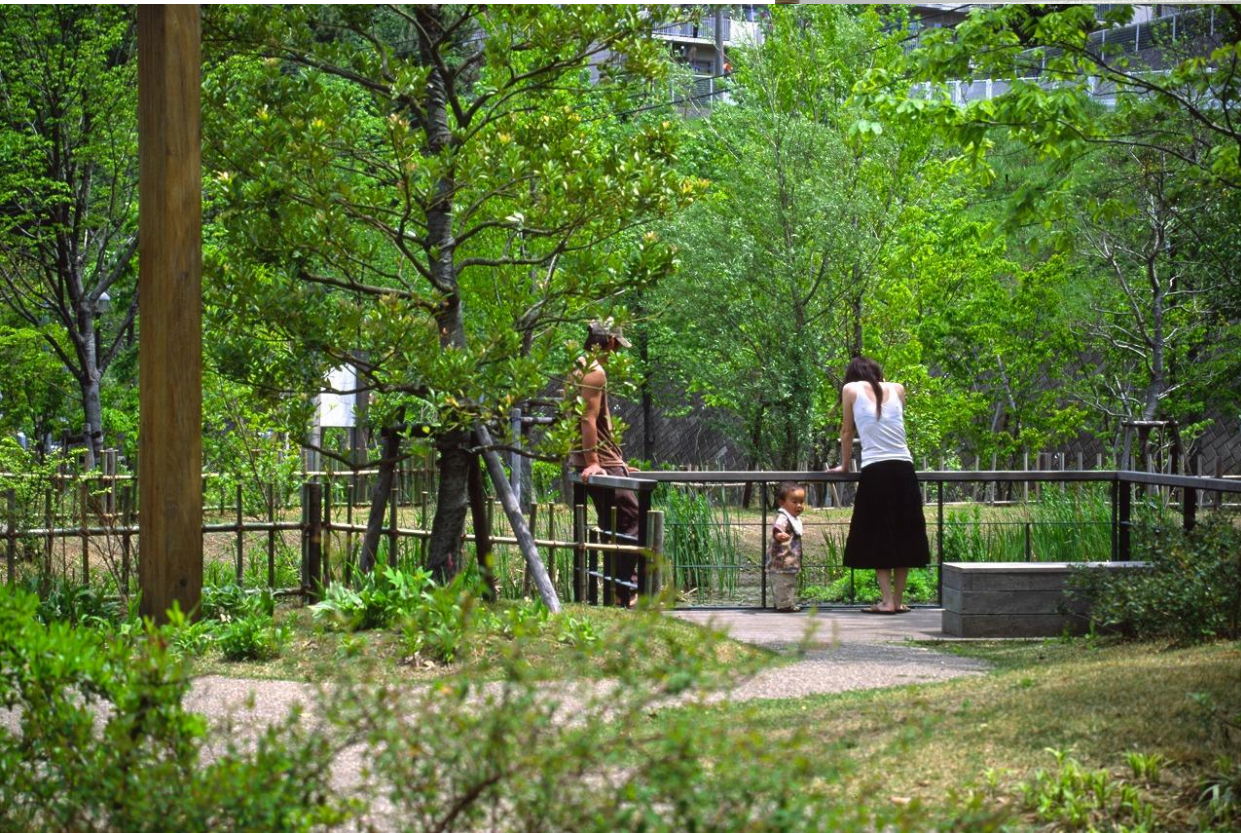
したがえる

空間言語



まぜる

空間言語



しめる

空間言語



空間言語

たいする

へだてる

空間言語



しぼる

空間言語



くずす

空間言語



たばねる

空間言語



ちりばめる 空間言語



ととのえる 空間言語



うつす

現象言語



かさねる

現象言語



やわらげる 現象言語



そよぐ

現象言語



うつろう

現象言語



ふるまう

現象言語



A. 理念・概念性（倫理・システム）

■ 社会性

- ・ 周辺との繋がりネットワーク
- ・ 多世代の参加型プログラム
- ・ 開かれた継続型のイベント

■ 歴史性

- ・ 蓄積された「モリ」の活用
- ・ 歴史の流れの具現化
- ・ オリンピックというイベントの対応

■ 多様性

- ・ いきものの多様性
- ・ 利用者の行為の多様性
- ・ 空間の多様性

B. 存在・利用性（空間・時間）

■ これから議論すること

ふわっとした言葉 ⇔ 具体的な言葉

あいまいな機能 ⇔ 明確な機能

限定された空間 ⇔ 自由な空間

明確な施設 ⇔ あいまいな施設

明確な行為 ⇔ 自由な行為



里山ガーデン

一押しスポット
みどころ紹介!



グランピング
サイト

森の中で楽しむカフェ空間 (MORI cafe) や都会的な快適さを楽しめるキャンプ「グランピング」が体験できます。他にも自然を生かしたワークショップなど森の楽しみ方を提案します。(一部有料)

森を楽しむ、
フォレストスタイル@ヨコハマ



かわいい
ガーデンベア
パンケーキ!





インフォメーション

注意

注意事項
1. 火気厳禁
2. 飲酒厳禁
3. 喫煙厳禁
4. 犬の散歩厳禁
5. 大声での談笑厳禁
6. ゴミの分別と回収
7. 自然環境の破壊厳禁
8. 安全確保のため、歩行者は優先
9. 緊急時、この看板を指さすこと

注意事項
1. 火気厳禁
2. 飲酒厳禁
3. 喫煙厳禁
4. 犬の散歩厳禁
5. 大声での談笑厳禁
6. ゴミの分別と回収
7. 自然環境の破壊厳禁
8. 安全確保のため、歩行者は優先
9. 緊急時、この看板を指さすこと

禁止





森を上から眺める! 新鮮な感動に出会えます



フォレストアドベンチャー よこはま

森の木々を生かした自然共生型の
アウトドアパークです。大人も子供
も楽しみながら森に触れ、里山の
自然を味わえます。(有料)











